

校訓 「くじけるな のびよ身と心 大望をもて」



あかぎ

赤木名の子らよ、大木になれ・七本のあかぎ

新年 1 月 特別号

平成 28 年 1 月 8 日 (金) 発行

《 いのち チャレンジ (挑戦) 感動 感謝 》

## まどめの学期！きばりよハッキナっ子！

校長 平野 浩



新年、あけましておめでとうございます。昨年は、保護者や地域の皆様には赤木名小学校の教育活動に様々な御支援・御協力をいただき、ありがとうございました。本年もよろしく願っています。

さて、冬休み期間中の子どもたちの家庭での生活態度はいかがでしたか。休みの期間は短いかもしれませんが、大みそか・正月等の行事もあり充実した休みだったのではないのでしょうか。

今日から3学期がはじまります。1年歳をとって成長するという意味には大きなものがあると思います。「成長」という言葉を辞書で調べると、【からだや心が育って、一人前の状態になる（近づく）こと。】とあります。からだだけでなく心も育てることが大事です。さらに、学力もつけて一人前を目指していかなければなりません。4月からは、6年生は中学生になり、他の学年もそれぞれ1学年進級し、さらに新1年生が入学してきます。それぞれが、1学年進級するわけです。そのための準備をする期間が3学期だと思えます。まどめの学期として、3学期をどう過ごすかということをしっかり考えてほしいと思います。

そこで、3学期に子どもたちががんばってほしいことは、まず、2学期に紹介した『前向きにチャレンジ・努力する』ということです。

そのためには、

- 1 目標を決める。(昨年の反省をもとに、実現可能でちょっと難しい目標を)
- 2 目標に向かってチャレンジする。(やらずに無理はダメ！まずやってみる！)
- 3 目標達成のために努力する。(いろいろな方法を考え、できる限りの努力を！)
- 4 努力したことを反省し、次の目標を決める。(プラス思考で！)

ということをがんばってほしいと思います。

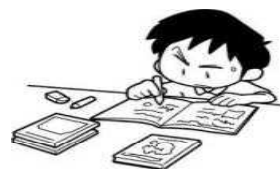
そして、3学期のまどめの学期にさらにがんばってほしいことは、

『「できない」・「わからない」を「できた」・「わかった」』にすることです。

1学年進級すると、学習する内容が学年を追って難しくなります。基礎・基本ができないと応用ができないのと同じように、前学年の学習が身に付いていないと、当然新しい学年の学習の定着が難しくなります。ですから、今の学年の学習をしっかりと復習し、「できた」「わかった」という状態で進級することを目標に3学期はがんばってほしいのです。

そのためには、

- 今の学年の教科書、ノート、テスト等を見直す。
- わからないところは必ず先生に聞く。
- 読書の習慣をつける。



「将来の学力は10歳までの読書量で決まる！」(松永暢史著、すばる舎)という本を見つけました。この中で、「本を読んで理解することができるから、勉強ができるのです。」という一文があります。また、東大生の親に行ったアンケートでも、共通して子どもの頃にさせていたのは、「読み聞かせ」でした。読書量の貯金があったりある子は、中学校ぐらいで本気になったら、ぐっと伸びるそうです。ぜひ、家庭でも読書の習慣を！そのためには、親が手本となり読書をするのが大切です。「できる、できる、必ずできる」「きばりよ！ハッキナっ子」

